

— 農業農村の明日を創る —
株式会社 アルファ技研



本社：〒063-0062 札幌市西区西町南21丁目2番11号
TEL：011-662-1201
FAX：011-662-1301
URL：http://www.alpha-giken.co.jp/
設立：昭和52年10月
代表者：竹中隆司
従業員：34名



社屋全景



社員

会社概要

昭和52年10月、札幌市に北海道総合技術研究所を設立。昭和56年に株式会社アルファ技研と社名を変更し、平成24年10月に創立35周年を迎え現在に至ります。農業農村整備事業全般の調査・計画・設計・管理に係わる総合コンサルタント業務を事業の柱とし、農業水利施設の管理技術のほか、資源経済も合わせた総合的な技術体制の整備に取り組んでいます。

当社の社是は、「誠意・確実・創造」で、この基本理念のもとに、仕事においてはわずかなりともプラス・アルファを心がけることを会社の方針としています。

35年の実績とたゆまない技術開発に取り組む

農業計画分野では、近時TPP問題に端を発し、国民的関心事となっている安全・安心で安定的な食料の確保と競争力ある農業の構築。その諸施策のうち、農業基盤整備の分野においては農地再編による農地の大区画化の取組みが実施されています。

当社では、国営農地再編整備事業の事業計画分野に参画し、農地再編と大区画化に向けた各種調

査、計画策定等に取り組んでいます。また、農業水利施設の設計分野では、国営の環境保全型かんがい排水事業における、家畜糞尿を地域資源として活用していくための肥培かんがい施設や、大規模畑作地域である十勝やオホーツク地域などでの排水路の設計など環境との調和に配慮した施設設計業務にも取り組んでいます。

国営土地改良事業のダム・頭首工などの大規模構造物、長大な用排水施設での施設管理は主に市町村、土地改良区が受託管理するケースが多く、これらの施設管理と用水管理を限られた人数で効率良く行うには適切な水管理制御施設の配置が欠かせません。当社は、創立以来「水管理技術」を得意分野とし、この管理技術に関する多くの知見を蓄積してきました。ハード面では水管理制御施設の設計を、ソフト面ではダムの管理支援システムや用水施設の管理支援システムを独自に開発し、発注者や施設管理者に提供してきました。また、用水路（パイプライン）の安全性、水理性能の確認のために行う通水試験や機能診断において、管路の圧力監視のために携帯電話通信を用いた監視装置を活用した実績により、関係学



地域の環境保全に貢献する肥培かんがい施設



農業水利施設の水管理システム



携帯電話通信を用いた監視装置



パイプラインの機能診断の状況



技術力研鑽のための社内現地研修
会風景(石狩泥炭地:ピートサンプリングと泥炭の構成植物調査)



NPO活動の一環としての泥炭地研究フィールドでの植生調査

会から優秀技術賞を受賞しています。そのほか、施設の機能診断技術の蓄積にも力をそそいでいます。

社内・社外研修による社員の技術力研鑽

技術の向上には、社員全体の技術情報の取得、研鑽が第一と考え、学会などの関係機関が開催する社外研修へ積極的に参加しています。また、外部講師や社内講師による社内研修および現地での社内研修を開催し、資質の研鑽、向上に努めています。また、関係学会等への研究発表にも積極的に取り組んでいるところです。

社会貢献活動を通しての地域貢献

農業・農村に関わるボランティア団体やNPO法人が行う諸活動に参画するとともに、NPO法人が行う農地の環境保全に関わる現地調査、研究やその成果の発表、各種団体ツアーガイドなどの活動への参加を通して地域貢献の一翼を担っています。これらの諸活動は地域社会に有意義な活動として今後も継続していくこととしています。

常に高い品質管理を目指して取り組む姿勢

平成13年度にISO9001を取得し、経営方針に基づく品質方針・目標を掲げ、発注者に対して積極的な技術提案、信頼のいただける確実な仕事の実施など、誠意を持って業務に取り組んできました。

社内的には社内文書の効率的処理、環境配慮、コスト削減を目的としてペーパーレス化に取り組み、平成15年にグループウェアの導入を図って改善を重ね、より効率的で確実なプロセス管理と効率化に向けた取組みを行っています。

手を携えて地域社会の発展に貢献を

農業・農村地域の基盤整備に関わる会社として、エンドユーザーである農業者等からの意見、要望を機会あるごとに積極的にくみ取り、それを適切な形で発注者を通して提供していくことが必須の要件でもあり、役割でもあります。地域と手を携えた対応が地域社会に貢献するものと常日頃から考えているところです。

(文：代表取締役社長 竹中隆司)